

【件名】

子育て関連について

【内容】

息子が今年小学校に入学した事により、初めて鎌倉市の小学校の校舎に入りました。

真っ先に伝わってきたのは、暗い、冷たい。という印象でした。

これから六年間通う小学校に、不安とわくわくした気持ちを併せ持ちながら、入学した現代の子供達に、まるで時間が止まってしまっているかのような、この環境はないのではないのでしょうか。

建物そのものを立て替えるというような、大がかりな改善を求めている訳ではありません。

古いマンションでも、少しの予算で時代に伴ったリノベーションができます。

たとえば、トイレです。窓から差し込む光も少なく、臭く、冷たい印象のタイル床で、様式便器は1つしかありませんでした。

我々世代は、駅のトイレやお店のトイレも、それが一般的で育ちましたが、それでも、家以外のトイレは怖い。と、幼い頃のわたしは感じていました。

しかし、今はその様な形式のトイレは、公園位で、子供達には、経験のないものなのです。

子供達からは、怖いからいきたくない。当然の意見です。

用を足すのを我慢している子も少なくはないと思います。大人の私でさえ怖かったのですから。

何も躊躇することなく、一人で行ける、明るく清潔なお手洗い！

子供達の健康、集中力に関わる大事な場所です。

もう一点は、教室に空調がないこと。これは当然ある物だと思っていましたので、無いことを知って衝撃でした。

なぜ設置していないのですか？

これだけ毎年、熱中症が問題になっている現代、守られるべき子供達の環境の劣悪さに、市はなんとも思わないのですか？

夏はもうすぐです。至急、設置してください。

放課後、預かりについて。

就労していない家庭の子供も、放課後の学校内で預かりを実施していただきたいです。

父親は働き盛り、核家族が大半の今、子供を見ていてくれる人が近くにいない母親は、時間のかかる用事が済ませられなく、困っています。

例えば遠くに行く用事、健康診断や、総合病院に行くことも、子供の帰宅時間に間に合わなかったら。と思うと、気が気じゃなく、行かれないのです。

兄弟で、下の子は幼稚園の預かり保育で6時まで安全に楽しく預かって頂けますが、小学校にこの様な制度がないので、幼稚園のありがたい制度も意味の無いものになってしまっています。

やりたいことが出来ないストレスもたまります。

横浜市の「はまっこ」という放課後預かり制度ご存じでしょうか、本当に素晴らしい制度です。

子供のことを一番に考えた内容ですね。すごく共感できます。

もし、ご存じなければ、是非調べてください！

無料でなくても、この様な制度で助かる親子沢山いるはずです。至急検討していただきたいです！

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/houkago/houkago/houkago-school.html>

もうひとつ、公園の遊具についてです。

これに関しましては、子供達だけでなく、我々大人やお年寄りの健康維持、交流のためにも、是非意見を取り入れていただきたいです。

近隣の市は、様々な遊具、健康器具を公園に設置しています。

鎌倉市は、自然豊かで素晴らしいです。散歩、ハイキングには大変恵まれていると思いますが、遊具のある公園がないので、子供を遊ばせる為には、市外に出て行く事になるのです。移動時間もかかる、ガソリン代、交通費、、たまになら、それも楽しみになるのですが、休日の度にです。

公園に子供達が居ないわけ。それは、魅力がないからです。

鎌倉市は、学校施設だけでなく、公園も時代が止まったままですね。

昔からそこにあり続ける滑り台、ブランコ、ジャングルジム。。

どこの公園に行っても、鎌倉市の子供達への愛情を感じれません。

市外に行かなくても、自宅の側で子供達が身体と頭を存分に使って、楽しく遊べる遊具を、増やしてあげてください。

今日はここの公園、明日はあっちの公園に行こうかな。。って迷ってしまうくらい、そんな嬉しい悩みができてしまう、市 素敵じゃないですか。

一見小さい事かもしれないけれど、魅力的な遊具のある市には、沢山人が集まります。

若い世代も交流の場になります。健康器具もあれば、幅広い世代の交流の場にもなり、人が集まってくるはずです。

一人住まいのお年寄りが、外出するきっかけにもなると思います。

住む場所を探していた頃、不動産会社の営業さん達は口々に「子育てするなら、鎌倉市はおすすめできない」と言っていました。

子供の居なかった私は、全く実感が沸かず、鎌倉市に家を購入しましたが、子供を産んで、あの時言われたことが、納得です。

鎌倉市にこんなに税金払っているのに、なんで?!と思う私達、子育て世代に、ありがとう鎌倉市！と言わせてください。

子供達の為に、学校環境は早急に整えてあげてください。学級が減った現状、難しい事では無いのでは？

すべての世代が鎌倉市に住んでいいでしょ！と誇れる環境は、決して大がかりな事業ではありません。

【回答】

暗い印象を受ける等の学校トイレは、現在、明るく快適で清潔感のあるトイレへの改修を進めているところです。

今泉小学校については、適宜、洋式便器への交換や照明の増設など、子どもたちにとって使いやすいトイレとなるように対応を図りたいと考えています。

小中学校の普通教室への空調設備の設置については、平成 28 年度から 4 年間で計画しています。計画では、28、29 年度の 2 箇年で中学校に設置し、29、30、31 年度の 3 箇年で小学校に設置を予定して

います。子どもたちが良好な学習環境で学ぶことができるよう取り組んでまいります。

放課後の学校内での預かりについてですが、本市においても、共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことを目的とした放課後子ども総合プランの実施に向けて、市教育委員会等と「鎌倉市放課後子ども総合プラン検討委員会」を平成28年2月に設置し、具体的な検討を始めたところで

す。

放課後子ども総合プランは、待機児童対策としても有効なことから、ご提案にもございました横浜市等の先行事例を参考にしながら、実施に向けた調査・検討を進めてまいります。

なお、今泉小学校区にございます岩瀬子ども会館（岩瀬549番地）は、平日及び土曜日の午前10時から午後5時まで、地域の子どもたちが、帰宅後に自由に遊べるスペースとして、開放していますので、ご利用をご検討ください。

公園は、散策、レクリエーション活動の場や防災空間のほか、うるおいや安らぎの場として市民の皆様の生活に欠かすことができないものと考えています。

本市では、昭和30年代からの高度経済成長期において、大規模開発等により、緑が急激に減少し、その後も小規模な開発により徐々に減少しています。

特に減少の激しい市街化区域の緑を守ることで、緑のネットワークを維持し、古都鎌倉の都市景観の向上を図ってきました。

大規模な公園については、多くの市民要望を含め、自然環境を最大限活用する内容で整備等を進めています。

一方で、住宅地の周辺にあります小規模な公園につきましては、整備から20年以上経過したものが多く、施設の老朽化やバリアフリー化、また、御指摘いただきました遊具の旧式化等の問題についても認識しており、現在、公園施設の状態を調査するなど、長寿命化計画を策定して公園の整備に取り組んでいます。

公園は、小さなお子様からお年寄りまで、幅広い世代の方が利用して地域交流の場になっていることから、楽しく遊べる遊具の設置など、魅力ある公園の整備も必要だと考えています。

今後も、利用者の安全、安心に配慮し、また、幅広い年齢層のニーズの把握に努め、利用者に親しまれる公園の整備に取り組んでまいります。

平成28年5月19日対応／回答